

平成22年度授業計画

東京都立小石川中等教育学校

教科	国語	科目名	国語総合	単位数 (予定授業時間)	5 (195)
使用教科書	高等学校新訂 国語総合 (第一学習社)		授業形態・学年	第4学年4クラス クラス単位	
科目の目標	国語を的確に理解し、適切に表現する能力を養う。 日本の言語文化の伝統を受け継ぎ、豊かな語彙と知識に裏付けられた表現の使い手となる。				
授 業 内 容 と 主 な 教 材	一学期	<p>随想・小説・評論の単元を通して自己を見つめ、他者を発見し、その間で自分の思いをいかに表現するかを学ぶ。</p> <p>「空き缶」 「羅生門」 「夢十夜」 「材のいのち」 「水の東西」</p>	<p>古文に親しみを持ち、その特徴に慣れる。古文を読解する上で留意すべき点を理解する。古典文法の基礎知識を身につける。</p> <p>説話「宇治拾遺物語」 「古今著聞集」 「十訓抄」 随筆の読解方法を身につけ、観察眼を養う。 随筆「徒然草」 「方丈記」</p>	<p>漢文入門・古代の史話の単元を通して、漢文学と我が国との関係を知り、漢文を学ぶ意義を認識する。また、漢文の訓読や書き下し文の基礎を身につける。</p> <p>格言 故事成語 「先従隗始」 「勿頸之交」 「臥薪嘗胆」</p>	
	二学期	<p>詩・短歌・俳句・評論・さまざまな文章の単元を通して、韻文の特色、文学的な表現や修辞・技巧、文体の違いなどを学び、日本語と日本文学への関心を高める。</p> <p>「鶯のうへ」 「一つのメルヘン」 「I was born」 「木」 「その子二十」 「ものとことば」</p>	<p>物語・日記・の単元を通して、文法のより深い知識を身につける。中世、中古、近世の人々のおかれた社会状況や、人々のものの考え方、文化への理解を深める。</p> <p>「土佐日記」 「奥の細道」 「伊勢物語」 「大和物語」 「平家物語」</p>	<p>唐代の詩文の単元を通して、漢文の形式・きまりを学ぶ。また、作品を通して古代中国の社会や人々の生き方、ものの見方への理解を深める。</p> <p>「春暁」「江雪」 「除夜作」「登高」 「送元二使安西」 「山行」「春望」 「桃花源記」</p>	
	三学期	<p>日本語・小説・評論の単元を通して言葉の感覚を磨き、論理的な思考の習慣を身につけ、成熟した言語・文章表現ができるようにする。</p> <p>「だれが歴史を書くか」 「城の崎にて」</p>	<p>和歌・俳諧の単元を通して我が国の伝統的な韻文の歴史、修辞技巧を理解する。文法や語彙の知識を身につける。</p> <p>「万葉集」 「古今和歌集」 「新古今和歌集」 「枕草子」を学び、王朝女流文学への興味、関心を持つと同時に、敬語の用法を学ぶ。</p>	<p>孔子と孟子の思想の単元を通して、古代中国の思想の流れを知り、その中に位置づけられる儒教の思想を、我が国とも関連づけて学ぶ。</p> <p>「論語」 「孟子」</p>	
評価のポイント	<p>・現代社会や人間にまつわるさまざまな問題・文章を正確に読解し、自己の考えを論理的に表現することができたか。</p> <p>・日本語・日本文化の歴史や特色を深く理解し、関心を持つことができたか。</p> <p>・古語・古文の基礎的な知識を確実に身につけ、漢文訓読の基礎を身につけることによって、古典に描かれた世界に関心を持ち、知識を広げようとする姿勢を身につけることができたか。</p>				